

⑨ 中高 美術科問題の解答について（注意）

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。（マークシート右上の記入方法を参照）消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「美術」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入 ア. 小問の解答番号は1から68までの通し番号になっており、例えば、25番を

25

 のように表示してある。
イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

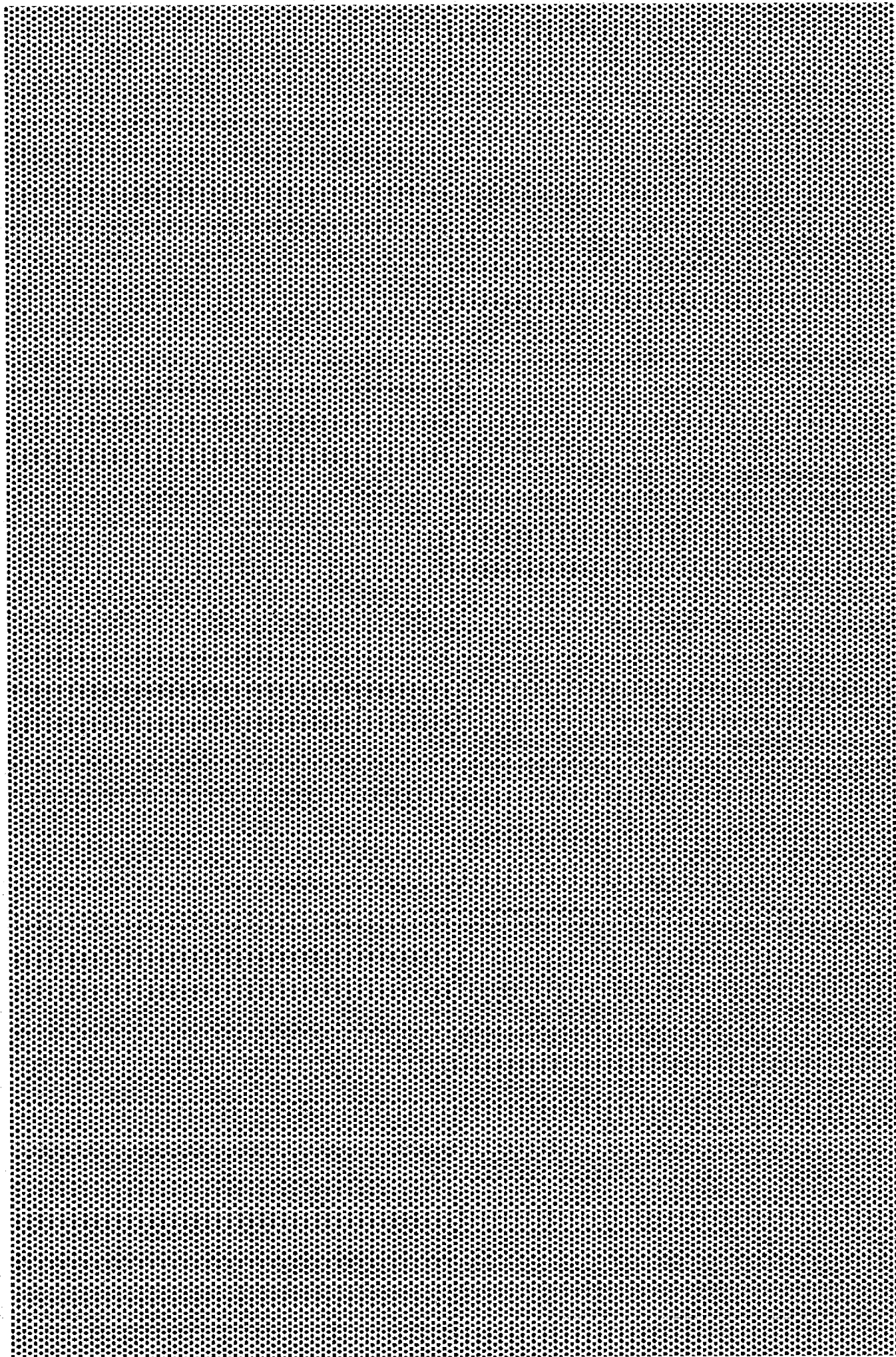
（マークシート記入例）

フリガナ	コウベタロウ
名前	神戸太郎
教科名	美術

数字で記入……

受験番号				
1	2	3	4	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0

小問番号	解答記入欄	小問番号	解答記入欄	小問番号	解答
	1 - 25		26 - 50		51
1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	51	0 0 0 0
2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	52	0 0 0 0
3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	53	0 0 0 0
4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	54	0 0 0 0
5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55	0 0 0 0
6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	56	0 0 0 0
7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	57	0 0 0 0
8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	58	0 0 0 0
9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	59	0 0 0 0
10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	60	0 0 0 0
11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	61	0 0 0 0



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説・特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第2章 道徳教育の目標」に関する記述のうち、内容が適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、文中に「児童」とあるのは、中学校・特別支援学校中等部では「生徒」に読み替えなさい。

- ① 道徳教育は、学校や児童の実態などを踏まえ設定した目標を達成するために、道徳科はもとより、各教科、外国語活動（*中学校では各教科に含まれる）、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて行うことを基本として、あらゆる教育活動を通じて、適切に行われなくてはならない。
- ② 国語科において、国語で正確に理解したり適切に表現したりする資質・能力を育成する上で、日常生活（*中学校では「社会生活」）における人との関わりの中で伝え合う力を高めることは、学校の教育活動全体で道徳教育を進めていくための基盤となるものである。
- ③ 道徳教育の目標は学習指導要領第1章総則において、「道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の（*中学校では「人間としての」）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、善悪の基準を理解し、正しい行動をとるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする」と、示している。
- ④ 多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、自立した個人として、また、国家・社会の形成者としてよりよく生きるために道徳的価値に向き合い、いかに生きるべきかを自ら考え続ける姿勢こそ道徳教育が求めるものである。
- ⑤ 道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的、発展的な指導を行うことが重要である。

- (2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第5章 道徳科の評価」に関する記述の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、文中に「児童」とあるのは、中学校・特別支援学校中等部では「生徒」に読み替えなさい。

道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする（ ア ）であり道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲及び態度を諸様相とする（ イ ）である。このような道徳性が養われたか否かは、容易に判断できるものではない。

しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その学習状況や成長の様子を適切に把握し評価することが求められる。児童の学習状況は指導によって変わる。道徳科における児童の学習状況の把握と評価については、教師が道徳科における指導と評価の考え方について明確にした（ ウ ）の作成が求められる。道徳性を養う道徳教育の要である道徳科の授業を改善していくことの重要性はここにある。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|------|
| ① | ア | 社会的特性 | イ | 倫理的資質 | ウ | 指導計画 |
| ② | ア | 社会的特性 | イ | 内面的資質 | ウ | 指導案 |
| ③ | ア | 社会的特性 | イ | 内面的資質 | ウ | 指導計画 |
| ④ | ア | 人格的特性 | イ | 倫理的資質 | ウ | 指導案 |
| ⑤ | ア | 人格的特性 | イ | 内面的資質 | ウ | 指導計画 |

- (3) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第3章 道徳科の内容」に関する記述の一部である。（ア）～（エ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

[小学校]

[家族愛，家庭生活の充実]

[第1学年及び第2学年]

父母，（ア）を敬愛し，進んで家の手伝いなどをして，家族の役に立つこと。

[第3学年及び第4学年]

父母，（ア）を敬愛し，家族みんなで協力し合って（イ）家庭をつくること。

[第5学年及び第6学年]

父母，（ア）を敬愛し，家族の（ウ）を求めて，進んで役に立つことをすること。

[中学校]

[家族愛，家庭生活の充実]

父母，（ア）を敬愛し，家族の一員としての（エ）をもって充実した家庭生活を築くこと。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|---|-----|---|----|
| ① | ア | 兄弟 | イ | 明るい | ウ | 幸せ | エ | 自覚 |
| ② | ア | 兄弟 | イ | 楽しい | ウ | 団らん | エ | 責任 |
| ③ | ア | 祖父母 | イ | 楽しい | ウ | 団らん | エ | 自覚 |
| ④ | ア | 祖父母 | イ | 楽しい | ウ | 幸せ | エ | 自覚 |
| ⑤ | ア | 祖父母 | イ | 明るい | ウ | 団らん | エ | 責任 |

【2】 次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、「小学校学習指導要領解説 図画工作編」(平成29年7月 文部科学省)における、教科の目標に関する解説の記述である。(ア)～(ウ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

○「豊かな情操を培う」について

情操とは、美しいものや優れたものに接して感動する、(ア)をいい、情緒などに比べて更に複雑な感情を指すものとされている。

図画工作科によって培われる情操は、よさや美しさなどのよりよい価値に向かう傾向をもつ意思や(イ)と深く関わっている。それは、一時的なものではなく、持続的に働くものであり、教育によって高めることで、豊かな人間性等を育むことになる。

図画工作科の学習は、自らの感性や想像力を働かせながら、資質・能力を発揮して表現や鑑賞の活動を行い、つくりだす喜びを味わうものである。このような過程は、その本来の性質に従い、おのずとよさや美しさを目指すことになる。それは、生活や社会に主体的に関わる態度を育成するとともに、伝統を継承し、文化や芸術を創造しようとする豊かな心を育成することにつながる。

このように、図画工作科の学習を通して、(ウ)とする児童の情意の調和的な発達をねらいとして豊かな情操を培うと示している。

- (ア) ① 感性豊かな心 ② 芸術的な心 ③ 情感豊かな心
④ しなやかな心 ⑤ 高尚で豊かな心
- (イ) ① 自己 ② 心情 ③ 感性
④ 態度 ⑤ 情感
- (ウ) ① より美しくしよう ② より楽しくしよう ③ よりよく学ぼう
④ よりよく生きよう ⑤ よりよく生活しよう

(ア)	(イ)	(ウ)
4	5	6

- (2) 次の文は、「小学校学習指導要領解説 図画工作編」(平成29年7月 文部科学省)における、指導計画の作成と内容の取扱いに関する解説の記述である。(ア)～(ウ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

表現と鑑賞は本来一体であり、相互に関連して働き合うことで児童の資質・能力を育成することができる。このことから「A表現」及び「B鑑賞」の指導については関連させて行うことを原則とすることを示している。例えば、一つの題材において、造形活動と鑑賞活動とが(ア)するような学習過程を設定し、児童が表現したことを、自身で味わったり、友人と交流したりすることにより、表現が深まったり、広がったりするように配慮することが大切である。鑑賞の場面においても、表現と分けて設定するのではなく、味わったことを試したり、表現に生かしたりすることができるような学習過程を設定することが考えられる。

ただし、指導の効果を高めるため必要がある場合には、児童の関心や実態を十分考慮した上で、全ての学年で、鑑賞を(イ)扱うことができる。その際、次の点に配慮する必要がある。

一つは、児童がよさや美しさなどについて関心をもって感じ取ったり考えたりし、一人一人の感じ方や見方を深めることができるような内容であること。

二つには、鑑賞する対象は発達の段階に応じて児童が関心や親しみのもてる作品などを選ぶようにするとともに、作品や作者についての知識は(ウ)として得られるものであること。

三つには、児童が対象について感じたことなどを言葉にしたり友人と話し合ったりするなど、言語活動を充実すること。

- (ア) ① 補完 ② 連動 ③ 交差 ④ 往還 ⑤ 共有
(イ) ① 集中的に ② 特別に ③ 個別に ④ 独立して ⑤ 限定的に
(ウ) ① 目的 ② 付随的なもの ③ 結果 ④ 学習過程 ⑤ 副次的なもの

(ア)	(イ)	(ウ)
7	8	9

- (3) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 美術編」(平成29年7月 文部科学省)における、教科の目標についての解説の記述である。(ア)～(オ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力とは、(ア)を豊かにもち、生活や社会の中の形や色彩などの造形の要素に着目し、それらによるコミュニケーションを通して、一人一人の生徒が(イ)の中で美術や美術文化を捉え、生活や社会と豊かに関わるができるようにするための資質・能力のことである。

生活や社会の中での美術や美術文化への関わり方には様々なことが考えられる。例えば、美術に専門的に関わる人もいれば、余暇に絵や陶芸を制作したり美術館で鑑賞に親しんだり、美術の文化遺産を見るために寺社や博物館などを訪れたりする人もいる。また、生活の中で美しく分かりやすいウェブページやチラシのデザインを考えたり、ものを選んだり飾ったりするときに形や色彩に思入れをもったりする人もいる。日常の中にある建物や街並みなどの人工的な造形に心を動かしたり、紅葉や夕日などの自然の造形を見て美しさを感じ取り味わったり、写真に残したりする人もいる。

このように、生活の中で(ア)をもって身の回りの様々なものからよさや美しさなどを感じ取ったり、形や色彩などによるコミュニケーションを通して多様な(ウ)に接して思いを巡らせたりすることで心豊かな生活を形成することにつながっていくものである。

これらの学びは、これまで美術科で重視してきた、①美的、造形的表現・創造、②文化・(エ)、③(オ)の視点からも捉えることができる。

- (ア) ① 美的な感覚 ② 造形的な視点 ③ 創造的な感性
 ④ 芸術的な観点 ⑤ 批評的な観点
- (イ) ① 自分との関わり ② 社会との関わり ③ 他者との関わり
 ④ 作品制作 ⑤ 経験の深化
- (ウ) ① 文化や捉え方 ② 見方や考え方 ③ 文化や考え方
 ④ 価値観や捉え方 ⑤ 価値観や感じ方
- (エ) ① 芸術理解 ② 自然理解 ③ 社会理解
 ④ 人間理解 ⑤ 価値理解
- (オ) ① 人間教育 ② 汎用的な能力 ③ 知識及び技能
 ④ 対話的な学び ⑤ 心の教育

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
10	11	12	13	14

(4) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 美術編」(平成29年7月 文部科学省)における、「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」に関する解説の記述である。

(ア)～(オ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

生徒が我が国を含む諸外国の児童生徒の作品、アジアの文化遺産などを鑑賞し、人間の成長発達と表現の変容、国などの違いによる表現の相違などについて理解を広げることは重要である。授業では、我が国及び諸外国の多様な年齢層の人の作品を(ア)して鑑賞したり、我が国の文化遺産などとの関連の深いアジアの文化遺産についても取り上げたりすることなどが考えられる。また、美術作品等の(イ)の重要性、国際協力の側面なども併せて学ばせるようにする。

地域によって美術館や博物館等の施設や美術的な文化財の状況は異なるが、学校や地域の実態に応じて、実物の美術作品を直接鑑賞する機会が得られるようにしたり、作家や(ウ)と連携したりして、可能な限り多様な鑑賞体験の場を設定するようにする。連携については、生徒の鑑賞の活動をより豊かに展開していく観点から学校と美術館等が(エ)をお互いに共有しながら推進することが大切である。その上で、それぞれの美術館や関係機関等において行われている研修会などとの連携や、美術館等と教育委員会、教師が共同で鑑賞プログラムや鑑賞教材を開発するなど、学校や地域の実態に応じた連携などが考えられる。

また、この学習の計画に当たっては、(オ)や学校行事、地域に関係する行事などとの関連を図るなどの工夫も考えられる。

- | | | | |
|-----|----------|-------------|------------|
| (ア) | ① 比較 | ② 購入 | ③ 収集 |
| | ④ 交流 | ⑤ 分析 | |
| (イ) | ① 発掘や保存 | ② 発掘や記録 | ③ 収集や管理 |
| | ④ 展示や公開 | ⑤ 保存や修復 | |
| (ウ) | ① ボランティア | ② 専門家 | ③ 研究者 |
| | ④ 司書 | ⑤ 学芸員 | |
| (エ) | ① 配慮事項 | ② 学習目標 | ③ 指導計画 |
| | ④ 活動のねらい | ⑤ 授業の評価方法 | |
| (オ) | ① 学級活動 | ② 道徳 | ③ 校外における活動 |
| | ④ 特別活動 | ⑤ 総合的な学習の時間 | |

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
15	16	17	18	19

(5) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編」（平成30年7月、文部科学省）における、「第1部 芸術編 第2章 各科目 第4節 美術Ⅰ 2 目標」に関する記述である。この文の解説として適切なものを①～⑤から3つ選び、番号で答えよ。

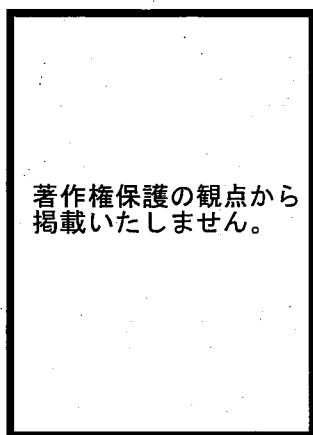
(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

- ① 「主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み」とは、「A表現」を意味し、そこに示されている資質・能力を主体的に発揮しようとしたり、身に付けようとしたりすることである。
- ② 「生涯にわたり美術を愛好する心情を育む」とは、表現と鑑賞の学習を通して美術の楽しさや創造の喜びを味わうとともに、美術の創造活動に関わる様々な資質・能力を身に付け、美的感覚や価値観を育み、主体的に表現したり鑑賞したり、生活の様々な場面でものを選んだり飾ったりするときに学んだことを生かしたりするなどして、生涯学習社会の一層の進展も視野に入れ、生涯を通じて美術を愛好していく心情を育成することである。
- ③ 「感性を高め」とは、様々な対象や事象からよさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力を高めることである。
- ④ 「美術文化に親しみ」とは、生活や社会の中の美術の働きに関心をもち、日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などの美意識や創造性などに触れる中で、美術文化に親しむことである。
- ⑤ 「心豊かな生活や社会を創造していく態度」とは、生活や社会を感覚的な視点で幅広く捉え、生活環境を直感的・造形的に構成するとともに、人々がともに心豊かに生きることのできる社会を創造しようとする態度を示している。

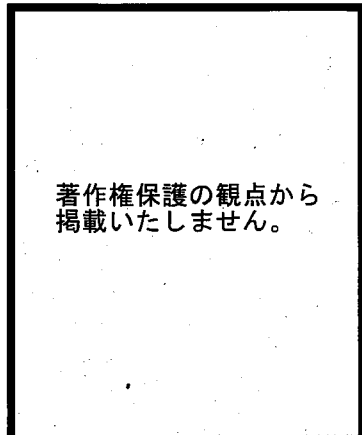
20	21	22
----	----	----

【3】 絵画について、次の問いに答えよ。

(1) 日本の絵画作品について、次の(ア)～(ウ)の作者をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。



(ア)



(イ)



(ウ)

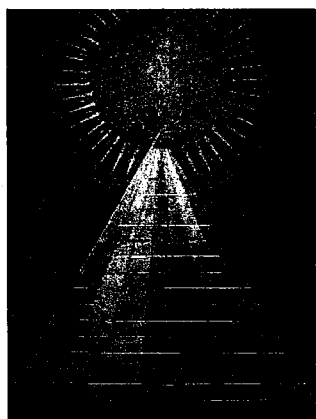
- ① 小倉遊亀 ② 伊藤小坡 ③ 上村松園 ④ 片岡球子 ⑤ いわさきちひろ

(ア)	(イ)	(ウ)
23	24	25

(2) 諸外国の絵画作品について、次の(ア)～(ウ)の作者をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。



(ア)



(イ)



(ウ)

- ① ロベール・ドローネー ② ヒルマ・アフ・クリント ③ フリーダ・カーロ
④ メアリー・カサット ⑤ ベルト・モリゾ

(ア)	(イ)	(ウ)
26	27	28

- (3) 次の文は、諸外国の女性画家とその作風、作者を取り巻く芸術の潮流や人間関係についての記述である。(ア)～(ウ)にあてはまる語句として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

女性画家として有名なベルト・モリゾとメアリー・カサットはともに (ア) の画家として位置付けられている。当時の美術界が男性中心で女性の職業画家がまだ少なかった時代に、女性や家庭の日常的な場면을題材とした作品を数多く残した。

モリゾは (イ) との交流を通じて活動を進め、初期には写実的で落ち着いた色調の人物像を描いたが、のちには光の表現や明るい色彩を重視する軽やかな筆致へと作風を発展させていった。

カサットは、新古典主義の美意識が強く新しい傾向の作品が認められにくいサロンに不満をもっていた。(ウ) に誘われて当時の新しい美術展に参加し、自由な筆致や明るい色彩の画面へと変化させていった。また、日本美術の影響を受けた版画技法や独自の構図を用いた作品を制作したことで有名である。

- (ア) ① 印象派 ② ロマン派 ③ フォーヴィズム
 ④ キュビズム ⑤ ドイツ表現主義
- (イ) ① クロード・モネ ② エドゥアール・マネ ③ ピエール＝オーギュスト・ルノワール
 ④ エドガー・ドガ ⑤ フィンセント・ファン・ゴッホ
- (ウ) ① クロード・モネ ② エドゥアール・マネ ③ ピエール＝オーギュスト・ルノワール
 ④ エドガー・ドガ ⑤ フィンセント・ファン・ゴッホ

(ア)	(イ)	(ウ)
29	30	31

【4】立体について、次の問いに答えよ。

(1) 日本の立体作品について、次の(ア)～(ウ)の作者をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(ア)



(イ)

著作権保護の
観点から
掲載いたし
ません。

(ウ)

- ① 板谷波山 ② はしもとみお ③ 三沢厚彦 ④ 高村光太郎 ⑤ 野々村仁清

(ア)	(イ)	(ウ)
32	33	34

(2) 海外の立体作品について、次の(ア)～(ウ)の作者をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。



(ア)



(イ)

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(ウ)

- ① ジャン・アルプ ② ロバート・ラウシェンバーグ ③ エミール・ガレ
④ ルネ・ラリック ⑤ ジェフ・クーンズ

(ア)	(イ)	(ウ)
35	36	37

(3) 次の問いに答えよ。

(i) 次の文は、作家の作風に関する記述である。(ア)～(ウ)にあてはまる語句の最も適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

野々村仁清は、仁和寺の「仁」と自らの名である清右衛門の「清」に由来する号をもち(ア)焼を大成した陶工である。初期には茶道具を中心に、ろくろを巧みに操り、端正な形と(イ)や(ウ)による華麗な装飾を深化させた。

- | | | | | | | |
|---|---|----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 京 | イ | 金銀彩 | ウ | 色絵 |
| ② | ア | 有田 | イ | 粉引 | ウ | 染付 |
| ③ | ア | 萩 | イ | 青磁 | ウ | 白釉 |
| ④ | ア | 備前 | イ | 志野 | ウ | 鉄絵 |
| ⑤ | ア | 信楽 | イ | 灰釉 | ウ | 刷毛目 |

38

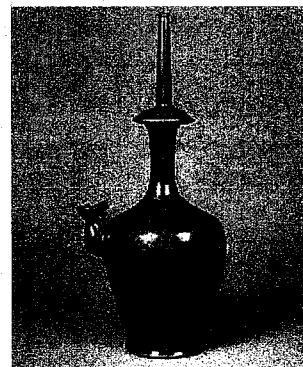
(ii) 野々村仁清の弟子であり、兄に琳派の代表的絵師をもつ陶工の作品として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



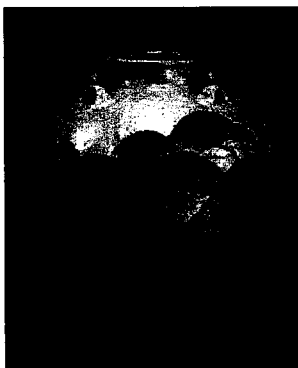
①

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

②



③



④



⑤

39

- (4) 次の文は、19世紀末の芸術の潮流や作家の作風に関する記述である。(ア)～(ウ)に当てはまる語句として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

19世紀末から20世紀初頭にかけて流行した(ア)は、フランス語で「新しい芸術」という意味をもち、パリの美術商の店名に由来する。曲線的な植物文様など自然を思わせる装飾が特徴で、特に日本の(イ)やジャポニズムの潮流の影響を受けている。

この様式を代表するチェコ出身のアルフォンス・ミュシャは、初期にはフランスを中心に活躍し、女性像と曲線的な装飾を特徴とするポスター作品を制作したが、チェコに帰国した後は民族的・象徴的な主題を扱い、歴史的物語を壮大な規模で描いた(ウ)の制作へと向かった。

- | | | |
|--------------------|-------|----------|
| ① ア アール・ヌーヴォー | イ 浮世絵 | ウ スラヴ叙事詩 |
| ② ア アール・デコ | イ 琳派 | ウ 四季 |
| ③ ア アール・デコ | イ 浮世絵 | ウ 四芸術 |
| ④ ア アール・ヌーヴォー | イ 琳派 | ウ 黄道十二宮 |
| ⑤ ア アーツ・アンド・クラフツ運動 | イ 水墨画 | ウ ジスモンダ |

【5】 絵画に関する指導をする際に気をつけること等について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、日本画で用いられる材料についての記述である。(ア)～(ウ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

- (ア) ① 魚のうろこ ② 植物の樹脂 ③ 動物の皮 ④ 岩石 ⑤ 貝殻
(イ) ① 塩 ② ミヨウバン ③ 胡粉 ④ 水銀 ⑤ 石灰
(ウ) ① にじみ ② かすれ ③ 混色 ④ 色ムラ ⑤ 裏移り

(ア)	(イ)	(ウ)
41	42	43

- (2) 次の文は、彫刻刀の彫り模様に関する記述である。(ア)と(イ)の彫り方の名称として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

彫刻刀は、木材などを彫って形を作るときに主に使う道具である。平刃・丸刃・三角刃など、用途に応じてさまざまな形の刃があり、それらを使い分けたり彫り方を工夫したりすることで、多様な表情や模様を生み出すことができる。

たとえば、切り出し刀で60度くらいの角度で仕切りを入れ、反対方向から、丸刀や平刀、三角刀などで30度くらいの角度で彫る方法を(ア)という。また、切り出し刀で図柄の中心線に切り込み入れ、左右から丸刀や平刀で斜めに彫る方法を(イ)という。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(ア)

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(イ)

- ① 片切り彫り ② 菱合い彫り ③ 薬研彫り ④ かまぼこ彫り ⑤ 石目彫り

(ア)	(イ)
44	45

【6】 デザインについて、次の問いに答えよ。

(1) 以下は、デザインエンジニアの山中俊治の言葉である。

デザイナーが目ざすべき「よいデザイン」とは、かっこよさと機能が絶妙なバランスで両立している状態のことです。アートの観点から見た美しさは大切ですが、「使いやすさ」をデザインするためには、試作品でテストし、分析した結果や見つけた問題点から仮説を立ててまた試作品をつくって……というサイエンスのアプローチが必要です。新しい技術や美意識を踏まえ、一つの製品の中でアートとサイエンスの絶妙な接点を探す。これが私にとってのデザインという仕事です。

(i) 山中がデザインした陸上競技用義足 (Rami) のデザインについて、山中の言う「アート」を実現するために取り入れた、具体的なアイデアとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 本物の足に見えるような肌色のカバー
- ② 美しさと丈夫さを両立するための網状のデザイン
- ③ 観客席からでも目立つように、トラックの色と対比させた派手な配色
- ④ 誰にでも安価に提供できるプラスチックの素材
- ⑤ 空気抵抗を極限まで減らすための形状

46

(ii) 山中がデザインした陸上競技用義足 (Rami) のデザインについて、山中の言う「サイエンス」を実現するために取り入れた、具体的なアイデアとして適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 3Dスキャナーを用いて、選手の足の形を正確にデジタル計測すること
- ② オリジナルの専用のソフトを開発し、緻密な脚を入れるソケットの内部構造を設計すること
- ③ 観客に与える心理的な印象のデータを分析し、色や形を改良すること
- ④ 試走データを分析し、重さや重心のバランスなどの物理的な問題を改良すること
- ⑤ 3Dプリンターを用いて、複雑な形の試作品を出力すること

47

(iii) 山中がデザインした駅の「自動改札機」のデザインについて、山中の言う「アート」を実現するために取り入れた、具体的なアイデアとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 駅のホームの雰囲気に合わせて、木目調の装飾
- ② 内部のメカニズムをあえて見せる、透明なデザイン
- ③ 汚れや傷を目立たせないための、表面の複雑な凹凸加工
- ④ ポケットから出してスムーズにICカードをかざせる、高さの設定
- ⑤ 直線と曲線を取り入れた、流動的なフォルム

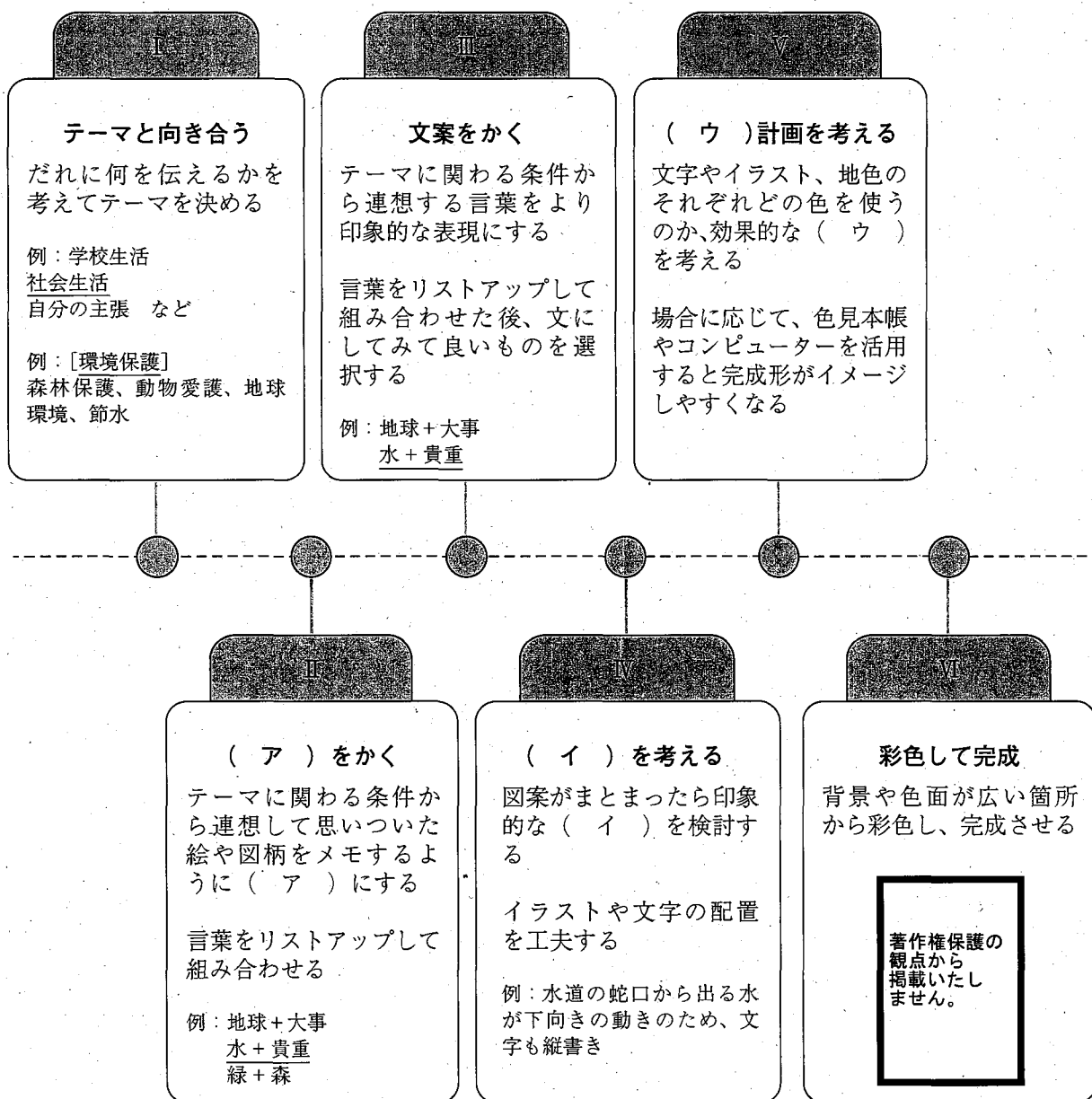
48

(iv) 山中がデザインした駅の「自動改札機」のデザインについて、山中の言う「サイエンス」を実現するために導き出された具体的なデザインのアイデアはどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 読み取りエラーを完全になくすためにカード挿入式にする
- ② 通過スピードを上げるために、ICカードの読み取り感度を上げる
- ③ 読み取りエラーを防ぐために、扉の開閉タイミングを少し遅くして、利用者を立ち止まらせる心理的な工夫
- ④ タッチする面を手前に傾けて光らせることで、通過する人の手が一瞬自然に止まる仕組み
- ⑤ 改札機の通路をあえて細長く設計することで、物理的に走るスピードを落とさせる工夫

49

(2) 以下は、ポスター制作のデザインプロセスである。(ア)～(ウ)にあてはまる語句の最も適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- | | | |
|---------------|---------|--------|
| ① ア マインドマップ | イ デッサン | ウ 質感表現 |
| ② ア アイディアスケッチ | イ レイアウト | ウ 配色 |
| ③ ア マインドマップ | イ モデリング | ウ 配色 |
| ④ ア アイディアスケッチ | イ レイアウト | ウ 材料選定 |
| ⑤ ア ポートフォリオ | イ モデリング | ウ 配色 |

(3) 次の問いに答えよ。

(i) 色彩に関する指導の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 画面の一部にアクセントカラーを入れることで、画面全体の印象をほやかし、統一感を出すことができる。
- ② 青や水色、白など「同一の色相」を使用することで派手で目立つ画面にすることができることを「同一調和」という。
- ③ 画面の大部分を支配し、基調となる色のことを「主調色」という。「主調色」とは対照的に目立つ色合いで画面の一部分に加える色を「強調色」という。
- ④ 「補色」の関係にある最も対照的な色を用いることで、コントラストが強まり、まとまりや統一感のある調和的な画面をつくることができる。
- ⑤ 隣合う色同士が似ていてはっきりしない時は、色の間に「三原色」のいずれかを加えて見やすくすることができることを「分離の効果」という。

51

(ii) 色彩に関する指導の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 色の見えやすさのことを「視認性」という。背景の色との組み合わせで明度差が大きいほど「視認性が高い」といえる。
- ② 上下や左右など、中心線を軸にして対象となる構成のことを「コントラスト」という。統一感はあるものの、画面の中に動きは感じさせない。
- ③ 性質が反対の形や色を組み合わせ、強い感じの効果を表す構成を「グラデーション」という。
- ④ 人の目を引きつける色の性質のことを「識別性」という。赤や黄など暖色系で彩度の高い色ほど「識別性」が高い。
- ⑤ 形の大きさや色の明暗などがある一定の割合で段階的に変化する構成のことを「リピテーション」という。

52

- (iii) 次の文は、文字のデザインに関する記述である。(ア)～(ウ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

ポスターに文字を入れる際に、統一したフォントで描いた方が読みやすくなるため、どのフォントを使うのかを考える必要がある。字体を考慮に入れて造形的な処理をして文字を書くこと、またはそのようにして書かれた文字を（ア）という。

縦線が太く横線が細く、文字の端には楔形の鱗がついているものを明朝体という。また、縦横の線がほぼ同じ太さで構成されているのがゴシック体である。

欧文書体の場合は、線の太さは細い部分と太い部分があるのがローマン体である。石に刻まれていたり、ペンで書かれたりした痕跡として長方形状の装飾である（イ）があるのが特徴である。一方で、（ウ）は線の太さが均一な書体である。

和文書体も欧文書体についても、見た目のバランスが良くなるように文字の間の距離や文字の大きさを調整すると、フォントデザインのばらつきが抑えられる。

- (ア) ① スペーシング ② タイポグラフィ ③ カリグラフィ
④ レタリング ⑤ プロポーション
- (イ) ① セリフ ② アセンダー ③ ピーク
④ キャップライン ⑤ デセnder
- (ウ) ① サンセリフ ② アセンダー ③ ピーク
④ キャップライン ⑤ セリフ

(ア)	(イ)	(ウ)
53	54	55

【7】. 工芸について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、民藝（民芸）に関する説明である。

1925年、思想家の（ ア ）は、それまで評価されてきた、貴族や権力者が時間と手間を与えた技巧中心の工芸を批判し、無名の職人によって作られる日常の道具にこそ「美」があると考え、「民藝」という言葉を用いた。「民藝（民芸）」は「民衆的工芸」の略であり、生活に根差した器や織物などを対象とする。特に（ イ ）という考え方を重視した。こうした考えは全国の陶磁器・漆器・織物などの生産に影響を与え、今日まで伝統が受け継がれている。

(i) 下線部の例として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の
観点から
掲載いたしません。

①

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

②

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

③

著作権保護の
観点から
掲載いたしません。

④

著作権保護の
観点から
掲載いたしません。

⑤

56

(ii) (ア)、(イ) にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

(ア) ① 河井寛次郎

② 柳宗悦

③ 濱田庄司

④ バーナード・リーチ

⑤ 黒田辰秋

(イ) ① 装飾美

② 機能美

③ 侘び寂び（わびさび）

④ 形式美

⑤ 用の美

(ア)	(イ)
57	58

(2) 次の文は、衣装に関する説明である。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

琉球王国時代に上流階級の人々の衣装や舞踊衣装として発達した（ア）である。朱や黄などの鮮やかな色彩が施されている。

型紙を使う技法が一般的である。下絵を基に切り抜いた型紙を布に当て、染める部分以外に糊をおいて防染して染める。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

アイヌ民族の衣装には、モレウという渦巻き状の刺繍が施されているアットウシである。

伝統的なアットウシ織りの原料は（イ）の樹皮である。水に強く通気性に優れた布である。また、当時は貴重だった木綿を縫い付けた美しい模様を生み出した。

(i) (ア)、(イ) にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

(ア) ① カパラミプ ② 南部裂織 ③ 紅型 ④ ルウンペ ⑤ 藍染め

(イ) ① オヒョウ ② 桑 ③ クルミ ④ カバノキ ⑤ 杉

(ア)	(イ)
59	60

(ii) 布の繊維の中に染料をしみ込ませて着色することを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① テキスタイル ② ファッション ③ 絵つけ ④ 染色 ⑤ 媒染

61

【8】美術館について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、兵庫県立美術館についての記述である。(ア)にあてはまる人物の代表作として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

兵庫県立美術館（神戸市中央区）は、阪神・淡路大震災からの文化復興のシンボルとして2002年に開館した。この美術館は、世界的に有名な建築家（ア）の設計によるものである。

屋外スペースには（ア）が「青春のシンボル」としてデザインしたオブジェ「青いりんご」がある。近代米国の詩人サミュエル・ウルマンが70代で作った「青春の詩」からオブジェを着想した。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

62

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

①

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

②

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

③

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

④

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

⑤

(2) 次の文は、美術館の役割についての記述である。

(i) 美術館の役割について、(ア) にあてはまる語句として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

美術館の役割の1つとして「(ア)」がある。多くの人に美術や美術館について興味をもってもらうために、様々な教育・(ア)を実施している。展示室でスタッフと対話をしながら鑑賞するギャラリー・トークや、ワークショップと呼ばれる体験型プログラムなど、来館者は美術や美術館と多様なかわり方ができる。

- ① 公開・展示 ② 調査・研究 ③ 収集・保存 ④ 普及活動 ⑤ 収蔵庫の整理

63

(ii) 兵庫県立美術館では学校への出前授業として、美術館の所蔵作品の画像を用いたアートカードを使った鑑賞授業を行っている。(イ) にあてはまる最も適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

グループで(イ)しながら活動することで、考える力・話す力・聞く力など日常生活の中で必要とされる基本的な能力や、相互理解、自己認識力、課題解決能力などを育むきっかけとなる。

- ① 分担 ② 作業 ③ コミュニケーション ④ 計画 ⑤ 競争

64

【9】映像メディア表現について、次の問いに答えよ。

次の文は、「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について」（令和2年9月 文部科学省）における「中学校美術科の指導におけるICTの活用例」の一部である。

「A表現」タブレット型のコンピュータを活用したアニメーションの制作（第1学年）

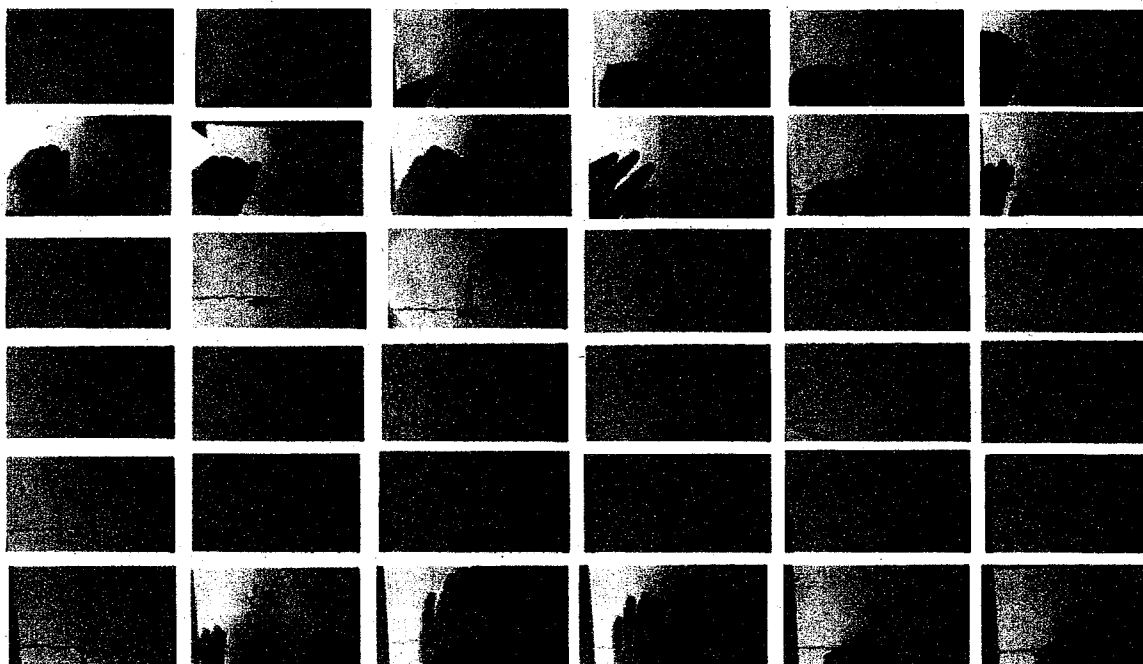


本活用例は、「感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現」（「A表現」（1）ア，（2），〔共通事項〕）において、aカメラ機能を搭載した、タブレット型のコンピュータを使って（ア）のアニメーションを制作する実践である。ここでは、単に描いたものだけを用いてアニメーションを制作するのではなく、手の写真や音声を取り入れるなど、映像メディア機器の特質を効果的に活用して、表現の活動を行っている。

このように美術の表現の（イ）を広げるために、効果的にb写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアの積極的な活用を図ることが大切である。

中学校美術科の指導におけるICTの活用例

「A表現」タブレット型のコンピュータを使ったアニメーションの制作（第1学年）



生徒のアニメーションの作品例

(1) 下線部 a は児童生徒にとって身近なカメラであり便利であるが、他にもさまざまな種類のカメラがある。カメラの説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 「デジタルカメラ」は光に反応する半導体を介して画像をデジタルデータとして記録し、「アナログカメラ」はフィルムに画像を記録する。
- ② 「レンズ付きフィルムカメラ」は、撮影に自動で現像される写真フィルムを使ったカメラである。撮ったその場で写真を見ることができる。
- ③ アナログカメラのフィルムは光に反応する感光性の素材でできており、撮影後も現像すれば再び使うことができる。
- ④ 「一眼レフカメラ」はレンズの取り外しはできないため、表現の幅は限定されるがサイズが比較的小さく、重量も軽いため扱いやすい。
- ⑤ 「全天球カメラ」は専用のレンズを用いて周囲を広く写すことができるカメラであり、一度の撮影で180度の範囲を記録できる。

65

(2) 下線部 b の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 逆光だと被写体に光があたり明るく写り、順光だと被写体に影がかかり暗く写る。
- ② レフ板を使うことで、作品を実際に目で見えている色よりもさらに暗く撮影することができる。
- ③ 広い範囲を写して奥行き感を出したい場合は「望遠レンズ」で、遠くからでも被写体を大きく撮影できるのが「広角レンズ」である。
- ④ 絞り値 (F値) が大きいほど遠近のピントの合う範囲が大きくなり、反対に数値が小さいほどピントの合う範囲は小さくなる。
- ⑤ 露出設定は0を起点に「+」と「-」で数値を変えられ、「+」に動かすと暗く写り、「-」に動かすと明るく写る。

66

(3) (ア) にあてはまる語句と同じ意味をもち、人形や物を少しずつ動かして1コマずつ撮影し、連続して再生することで動いているように見せるアニメーション技法を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① トランジション ② ソーマトロープ ③ フェナキスティスコープ
- ④ プロジェクションマッピング ⑤ ストップモーション

67

(4) (イ) にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 可能性 ② 臨場感 ③ 奥行き ④ 働き ⑤ 特質

